

SQUID 磁束計 MPMS-XL 利用規程（平成 27 年 4 月）

- (1) 本装置は超伝導量子干渉型磁束計（SQUID 磁束計）であり、温度、磁場をパラメータとして磁性材料の磁化を測定することができます。
- (2) 一般に目的とする測定が研究室によって異なることから一律の説明会を行わず、測定希望研究室には責任者を選出していただき、運営責任者が個別に対応します。初回に研究室責任者に対して講習を行いますので、その後は研究室責任者の監督の下測定を行ってください。また、責任者の変更があった場合は、速やかに届け出てください。
- (3) 使用時間は午前 10 時から翌日午前 10 時まで、1 日単位での予約をして下さい。予約に当たっては、ユーザー側でサイボウズに直接入力しないようにしてください。ユーザーはサイボウズで現在の予約状況を確認の上、空いている日程で希望日を管理者（榎本, menomoto@rs.kagu.tus.ac.jp) まで、メールでご連絡ください。問題が無い場合は管理者がサイボウズへの予約を行います。もし希望が極端に偏った場合には、小口ユーザーがある程度定期的に測定できるような調整を行います。
また、実際の使用に際しては使用記録の記入をして下さい。
- (4) 使用料金は 1 日 4000 円を予定しております。基本的にはこの使用料で保守費をまかなくはありますが、使用料でまかないきれない故障・部品交換が生じた場合に、利用時間を勘案して各研究室に御負担をお願いすることがあります。
- (5) 過失により部品を損傷した場合は、所属研究室の予算にて原状回復していただきます。特にサンプルロッド（3 本セットで 10 万円程度）が折れやすいので、十分気をつけて下さい。共通利用のロッドの不具合が問題となるヘビーユーザーに関しては、ロッド購入を推奨します。
- (6) 不具合を発見した場合は速やかに榎本研究室（(内)5780）までご連絡下さい。装置内へのサンプルの落下、サンプルの漏出などに自分で対処しようとししないで下さい。
- (7) 本装置は磁化率測定以外の用途での低温物性測定も可能ですが、そのような使用法を検討している研究室は、あらかじめ管理者と十分に相談の上、実験を計画して下さい。

装置管理：理学部第一部化学科 榎本研究室（(内)5780, 5755）